

自己校正プロセス- 定石集

1 1. 使う場面

- 初稿を書いた直後に、どこから点検すべきか迷う場面
- 再提出の前に、見落しを系統的に減らしたい場面
- 同じ答案で COL / CLS / REG が混在し、修正順序が崩れる場面

2 2. 見分け方

状況	使う手順
時間制限がある	1文30秒で「意味 → 主節 → COL」の3点だけ確認
再提出の前で丁寧に点検できる	意味保持 → CLS/TNS → COL/PRP/ART → REG の順で全点検
低得点の原因が分からない	まず誤りタグ体系に戻り、主要タグを決める

3 3. 使う公式

この定石では数式の代わりに、校正の固定順序を使用する。

Display

- 意味は保持されているか
- 主節は立っているか
- 時制は時間線と一致しているか
- 語法・前置詞・冠詞は自然か
- 文体は場面に合っているか

→ (定石集) 誤りタグ体系 [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>

4 4. 解き方の手順

- 原文を再確認し、意味の欠落・過剰・誤読がないかを確認する
- 主語と動詞を丸で囲むつもりで確認し、主節が成立しているかを点検する
- 物語文や説明文では、出来事の順序を時間線で確認し、TNS を点検する
- COL / PRP / ART を上から順に確認する。ここでは「意味が通るか」ではなく「英語として標準的か」を問う
- 最後に REG を確認し、会話・事務・学術・物語のどの文体かを再確認する
- 主要タグを1文1個に絞り、修正前と修正後を記録する

5 5. 判別と注意点

5.1 意味保持を先に確認する理由

ひょうげん しぜん いみほじ さき かくにん りゆう
表現を自然にしても、意味が落ちていけば再提出としては失敗である。校正の最初に意味保持を置くのは、
この事故を防ぐためである。

5.2 COL と REG は最後まで残す

こっかく くず ぶん さき しぜんか しゅうせい にどでま
骨格が崩れた文を先に自然化しても、修正が二度手間になる。したがって、CLS と TNS を安定させた後
で COL と REG を処理する。

5.3 検証を省略しない

じぶん しぜん かん
自分では自然だと感じても、Collocation や Register は母語干渉を受けやすい。1 回でも迷ったら、辞書か
コーパスで根拠を取る。

5.4 採点と次回課題へ接続する

じここうせい しゅうせいぶん え てじゅん こうせい しゅうりょうじ しゅう しゅうせいまえ しゅうせいご こんきよ
自己校正は修正文を得るためだけの手順ではない。校正の終了時には、主要タグ、修正前、修正後、根拠
を 1 行で残し、採点ループリックとポートフォリオ運用へ受け渡す必要がある。

→ [定石集](#) [英訳採点ループリック](#) [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/英訳採点ループリック-定石集/>

→ [定石集](#) [英訳ポートフォリオ運用](#) [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/英訳ポートフォリオ運用-定石集/>

じここうせい まんぞく なお なお じかい わた じょうたい
自己校正だけで満足すると、「直したが、なぜ直せたかを次回へ渡していない」という状態になりやすい。
したがって、この定石の終点は修正完了ではなく、記録完了である。

6 6. 落とし穴

- 初稿の左から順に直し始める：局所の修正で満足し、主節や時制の崩壊を見落とす
- COL と PRP を区別しない：discuss about のような表現は、前置詞だけでなく語法の問題でもある
- REG を飾りだと考える：文体がずれると、事務文でも論説文でも評価が大きく落ちる

7 7. 関連リンク

→ [定石集](#) [誤りタグ体系](#) [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>

→ **定石集** **英訳採点ループリック** [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/英訳採点ループリック-定石集/>

→ **定石集** **英訳ポートフォリオ運用** [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/英訳ポートフォリオ運用-定石集/>

→ **講義** **英語学習の運用設計** [lecture](#) [english](#) [overview](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/overview/英語学習の運用設計-講義/>

→ **問題演習** **自己採点と再翻訳** [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/自己採点と再翻訳-問題演習/>

→ **問題演習** **段落タイムド英訳** [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/段落タイムド英訳-問題演習/>

→ **問題演習** **多ジャンル総合英訳** [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/多ジャンル総合英訳-問題演習/>

→ **問題演習** **ポートフォリオ更新ドリル** [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/ポートフォリオ更新ドリル-問題演習/>

→ **講義** **コロケーション基礎** [lecture](#) [english](#) [collocation](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/collocation/コロケーション基礎-講義/>